



年頭のごあいさつ

至誠通天

長浜市長 藤井勇治



新庁舎 市長室

新 年あけましておめでとうございます。

私の座右の銘「至誠通天」。これは何事も誠を尽くせば、必ず天に通じるという意味です。本年も心して市政に邁進してまいります。

昨年を振り返りますと、2月の市長選挙で皆さまからご支援をいただき、藤井市政2期目のスタートを切りました。春には東京で「観音の里の祈りとくらし展」を開催し大反響を呼び、秋には西浅井町菅浦の湖岸集落が、国の重要文化的景観に選定されました。そしてNHK大河ドラマにあわせて開催した「黒田官兵衛博覧会」では、全国から約35万人の観光客をお迎えし、「戦国の聖地長浜」の魅力をお伝えすることができました。また、長浜曳山祭りがユネスコの無形文化遺産登録を目指し、2016年に提案されることが決定するなど、明るい話題が多くあった一年でした。

一方で、人口減少や少子高齢化という大きな問題を抱えています。私は、これからの長浜を考えたとき、重要なものの一つが「人づくり」だと考えています。まちのあちこちで子どもたちの笑い声が広がり、仲睦まじい親子の姿があふれる長浜にしたいと強く思っています。そのために、就職、結婚、子育て、教育など一連の施策を充実させ、子どもの成長にあわせた切れ目のない総合的な取組みに力をいれてまいります。

今年は、いよいよ「小谷城スマートインターチェンジ」の着工に向けて大きく動きだします。また、長浜の玄関口であるJR長浜駅周辺地区再開発整備事業は、いよいよ2月上旬に南地区で新しい大型スーパーが開業となり、引き続き東地区、北地区の事業に着手し「長浜の玄関・顔」づくりを力強く進めます。

そして待望の新庁舎がようやく完成し、今月5日から業務を開始いたします。新庁舎は行政サービスの向上はもちろんのこと、市民の皆さまに、「親しみ」や「温もり」を感じていただけるよう、私が先頭に立ち、職員一丸となって「おもてなしの心」で皆さんをお迎えいたしますので、大いにご利用いただきたいと思います。

これからは、本格的な「地方創生」の時代です。地方が元気で栄えることが国を発展させます。本市においても、特に北部地域振興策など各分野での「長浜ブランド化」を図り、積極的な施策を国に提言し、魅力ある力強い郷土づくりを推し進める決意です。

昨年、パラリンピアン佐藤真海さんとの対談の機会をいただきました。その時、彼女から「乗り越えられない試練は与えられない」という言葉をいただきました。合併後の長浜には、課題・難題も多くありますが、この言葉をいつも肝に銘じ頑張っています。

今年も、安全で安心、愛着と誇りの持てるまち、そして、全国でもキラリと光る12万都市長浜を目指して、強い使命感和情熱をもって、全力で取り組んでまいります。新しい夢あふれるまちづくりに、一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。